

東北地域における女性起業家ネットワーク構築支援事業

当センターとみやぎ・やまがた女性交流機構の共催により、宮城・山形両県の女性を対象とした「第8回 みやぎ・やまがた 地域を超えてチャレンジする女性の交流会」を、2月15日（土）に仙台市で開催した。

当日は、「記録的な大雪」の影響により交通機関が乱れ、多くの方が参加を断念せざるを得ない状況にあったが、それでも80名の方が参加した。



この交流会には、来賓として仙台市の奥山恵美子市長、宮城県商工会議所連合会の鎌田宏会長にご臨席いただきご挨拶をいただいた。

来賓挨拶



奥山 恵美子 仙台市長

来賓挨拶



鎌田 宏 宮城県商工会議所連合会会長

また当日は、宮城県の村井嘉浩知事ならびに山形県の吉村美栄子知事より、ビデオによる応援メッセージが寄せられた。

応援メッセージ



村井 嘉浩 宮城県知事

応援メッセージ



吉村 美栄子 山形県知事

第1部 パネルディスカッション

『新しい東北』の創造と女性の力」と題し、各地域で活躍しているパネリストより、地域で取り組んでいる特色ある活動について報告をいただいた。

今年は、交流会が始まって以来初めて、福島県よりパネリストを招き「福島の復興」への取り組みが紹介された。



<コーディネーター> 宮原 育子 宮城大学教授

<パネリスト>

佐藤 綾 宮城県松島町産業観光課主査

引地 恵 一般社団法人 WATALIS 代表理事

黒田 三佳 人材アカデミーローズレーン代表

和合アヤ子 福島県商工会議所女性連合会会長

第2部 昼食交流

「伝えたい“山形の生命をつなぐ食文化”」をテーマに、山形県置賜地域の協力を得ながら、同地域の伝統食材を使った昼食を用意した。

これは前回の交流会で、パネリストの1人から「今の若い方達は冷蔵庫に食材がないと何も作れない」との指摘を受け、厳しく長い冬に置賜地域の高齢者が保存食としている冬の食材を用い、若い方々にも喜んで頂ける献立にしようとのアイデアからでたものである。

第3部 分科会

8つの分科会を設け、共通の関心あるテーマに集まった方々が意見交換を行った。

<分科会テーマ>

- ① 女性の起業と経営
- ② コミュニティビジネスと地域活性化
- ③ 食のイベントプランニングのコツ
- ④ 「食べることは生きること」そして「楽しいこと」
～食育の大切さを考えよう～
- ⑤ 女性の力で地域を元気に、元気なコミュニティ作り
- ⑥ 女性が輝く職場環境づくり
- ⑦ 人生の仕事 ～デモシカワークからミッションワークを生きよう！～
- ⑧ あなたの町でおもてなし ～地域で観光交流～

